

「仙台市立高等学校再編計画」

～ 魅力と活力のある市立高等学校をめざして～

平成18年 5 月

仙台市教育委員会

はじめに

第14期中央教育審議会から「新しい時代に対応する教育の諸制度の改革について」の答申がなされて以来、国による法令等の改正が行なわれ、全国的に高校教育改革が進められています。

仙台市教育委員会においては、社会の変化や多様化している生徒や市民の期待に応えることのできる高校教育を推進するため、平成15年10月17日に学識経験者、地元経済界関係者、保護者などを委員とした「仙台市立高等学校教育検討委員会」を設置し、「仙台市立高等学校のあるべき姿」について諮問しました。

平成17年7月14日に同検討委員会から答申を受け、この度、その趣旨を踏まえ、「仙台市立高等学校再編計画」を策定しました。

仙台市教育委員会は、この計画に基づき、生徒一人ひとりの個性をより重視した教育を行い、一層魅力と活力のある市立高等学校の実現に向けて、高校教育の改革を推進します。

平成18年5月26日
仙台市教育委員会

1 計画策定の趣旨

仙台市立高等学校は、昭和40年代から基本的な枠組みが変わっておらず、生徒の興味・関心や進路希望等の多様化、就業構造の変化、急激な少子化など社会情勢の変化に十分対応できていないところがあり、こうした社会の変化に柔軟かつ適切に対応し、時代のニーズに応える魅力ある学校づくりが求められています。

これからの高校教育では、次代を担う社会人として必要とされる基本的な内容を生徒に確実に身につけさせることが重要です。そして、生徒一人ひとりに対して、自分の興味・関心や進路などに基づく主体的な学習を促し、それぞれの個性を最大限に伸ばすため、選択の幅の広い教育を推進していくことが大切になります。

また、生徒数の減少に応じた学校規模のあり方を検討するとともに、個々の生徒の特性にきめ細かく対応することができるよう、教育条件の充実も含め、その質的充実をめざすことが望まれています。

この計画は、市立高等学校がかかえている様々な課題に適切に対応するとともに、生徒にとってそれぞれが個性的で魅力のある学校となるよう、平成22年度までに着手すべき市立高等学校の基本的な方向性を示したものです。

2 市立高等学校をめぐる現状と課題

(1) 生徒の多様化と社会の変化

仙台市立の中学校を平成18年3月に卒業した生徒の高校進学率は98.8%になります。このような中で、市立高等学校で学ぶ生徒の興味・関心、進路希望等は、ますます多様化しています。また、急速に進む社会情勢の変化により、生徒が自己の将来に見通しを付け難い状況になっています。

こうした変化に対応して、新たな教育内容や弾力的なシステムを取り入れるなど、創意工夫を生かした特色ある教育の展開が求められています。

また、これからは生徒の進学や就職へのニーズを踏まえながらも、生涯にわたって学習を続けていくために必要な基礎的な能力や自ら学ぶ意欲や態度を育てることが重要となります。

(2) 中学卒業生数の減少

仙台地区の中学卒業生数は、宮城県教育委員会の推計によると平成元年の20,224人をピークとし、平成16年にはピーク時の約76%に当たる15,413人まで減少し、平成21年にはピーク時の約69%に当たる13,871人程度となることが見込まれています。

市立高等学校においても、県立高等学校全体の状況を考慮し、生徒数の減少に応じた学校規模や配置を検討することが必要となります。

また、教育内容の質的な向上を図るとともに、将来、社会人・職業人として自立できるようにするキャリア教育の充実が求められています。

(3) 教職員の状況

市立高等学校では、教職員の年齢構成のばらつきがあることや、同一校における勤務年数が長いなどの課題をかかえています。

生徒の多様なニーズに対応し、教育を取り巻く環境の急激な変化に迅速かつ的確に対応していくためには、教育内容面の改革だけでなく教職員の資質・能力の一層の向上が不可欠であり、教職員の適正な配置とともに、これからは、教職員の専門性及び実践的指導力を高めることが求められています。

(4) 地域や社会との連携

市立高等学校は、これまでも地域に根ざした高校づくりをめざしてきましたが、「学校で行われていることの中身が見えない」という指摘もありました。

これからの市立高等学校では、これまで以上に、地域・社会との連携を進め、地域・社会の教育力の活用と、学校の機能を地域へ還元するなどの相互交流を進めることが求められています。

仙台市立高等学校の設置学科及び募集定員

(平成18年4月現在)

全日制課程			定時制課程		
学校名	学科	定員	学校名	学科	定員
仙台高等学校	普通科	男 184	仙台函南萩陵高等学校	普通科	120
		女 136		仙台第二工業高等学校	建築科
仙台工業高等学校	建築科	40		土木科	40
	土木科	40		機械科	40
	機械科	80			
	電気科	80			
仙台商業高等学校	国際経済科	男 40			
	情報管理科	男 40			
	商業科	男 200			
仙台女子商業高等学校	商業科	女 240			

3 魅力と活力のある市立高等学校の実現のために

生徒の多様な興味・関心を受けとめることができるような、個性的で魅力ある「学校づくり」を積極的に推進し、生徒一人ひとりが、自らの資質・能力を生かし、目標の実現に向けて努力していく力を養う学習環境を整備します。

市立高等学校が「魅力ある学習の場」であり「活力ある学習の場」となるよう改革を進めていきます。

(1) 基本的な考え方

時代の変化にあった教育の提供

これからの社会では、主体的に学ぶ力や社会の変化に柔軟に対応していく力が求められています。市立高等学校では、生徒一人ひとりの個性を十分に生かすことのできる多様で柔軟な高校教育を展開していくことをめざします。

このため、普通高校における単位制や中高一貫教育など新たな制度の導入をはじめ、生徒一人ひとりのペースでじっくり学ぶことのできる新しいタイプの定時制高校を設置します。また、専門高校では、産業構造・就業構造の変化や進学希望者の増加に対応できるような魅力ある教育内容を展開します。

将来の職業選択や自己の進路達成に資するため、市立高等学校全体としてキャリア教育を推進し、生徒を支援するための体制の充実を図ります。

地域・社会ではぐくむ教育

生徒の多様な実態に対応し選択学習の機会を拡大する観点から、市立高等学校間の連携はもとより、大学等の教育機関との連携により教育内容の充実を図ります。

生徒の望ましい勤労観や職業観の育成と学習意欲を高めるため、地元経済界などとの連携による地域の教育力を活用し、教育内容の多様化を図ります。

また、生涯学習の視点から、学校の機能を地域へ還元するなど、開かれた学校づくりを進め、地域・社会全体で豊かな人間性、社会性をはぐくむ教育を行ないます。

学科の構成と配置の適正化

生徒数の減少、大学等への進学希望者の増加や産業界のニーズの変化等に合わせ、学科構成や募集定員を見直します。

特に、専門高校においては、高度な知識・技能を持ったスペシャリストを育成するために、進学も視野に入れた学校づくりを推進します。

(2) 新たな制度等の導入

普通高校への単位制の導入

将来への夢の実現を望む生徒が、多様な選択科目の中から自己の将来の進路や能力・適性、興味・関心などに応じた教科・科目を選択し、自己の学習計画に基づき、主体的に学習に取り組むことができる単位制を導入します。

新しいタイプの定時制高校の設置

学習目的、学習歴、生活スタイルなどのそれぞれ異なる生徒が、学ぶことのできる場として、昼夜間の二部制・単位制の新しいタイプの定時制高校を設置します。

この定時制高校では、多様な教科・科目を開設し、生徒一人ひとりの様々な学習ニーズに応えるとともに、生徒が学習時間帯を自由に選択し、自分のペースで学習計画を立てて、じっくり学ぶことや得意な分野の伸長を図ることができるようにします。

また、生涯学習の観点から、社会人などの科目履修生を受け入れます。

中高一貫教育校の新設

社会が急速に変化している現在、児童・生徒の能力・適性、興味・関心、進路はこれまで以上に多様化しています。本市における中等教育の一層の多様化を図り、児童・生徒や保護者の学校選択肢を拡大し、生徒一人ひとりの個性や創造性を伸ばすことをめざした教育を進めるため、6年間の計画的・継続的な教育を行う中高一貫教育校を設置します。

入学者選抜などの改善

新しいタイプの定時制高校においては、入学者選抜方法の多様化を図るため、自己推薦制の導入について検討します。また、就学希望者が年度途中からでも入学できるように、学期の区分に応じた入学や転編入学のあり方についても併せて検討します。

工業高校においては、入学時に特定の学科等を選択せず、学年進行時に生徒の希望と適性を重視して所属学科等を主体的に選択できる総合募集制の導入を検討します。

4 市立高等学校の再編方針について

専門高校に偏っていた枠組みを整理し、仙台市の高校として、個性を十分に生かせる多様で柔軟な教育を市民に提供できる新たな市立高等学校の枠組みを構成します。なお、それぞれの高校が特色ある学校づくりを推進し、魅力ある高校であり、活力ある教育活動を展開します。そして、多様で個性豊かな中学生が自己の進路実現を達成するために選択するような市立高等学校をめざします。

(1) 市立高等学校の再編

普通高校について

普通高校においては、教養の習得や社会人として必要な資質の涵養はもとより、仙台市内の県立普通高校と異なる個性化・特色化を推進することが必要です。個性化・特色化の推進に当たっては、育成する生徒像を明らかにし、創意と工夫に富んだ教育活動に取り組むことが大切になります。

また、生徒や保護者のニーズを的確に捉えながら課題を明確にし、生徒一人ひとりの特性、進路希望、幅広い興味・関心に対応するため、特色ある分野の充実や多様な分野にわたる科目の展開を図るなど、教育内容に特色を持つ新たな教育形態の導入が求められます。

【仙台高等学校】

生徒の主体的な学習や進路選択を進めるため、自己の学習計画に基づき、進路や能力・適性、興味・関心などに応じた教科・科目を選択することができる単位制を導入し、学力向上と進学対策の充実を図ります。

専門高校について

以前は、卒業生の多くが就職していました。しかし、近年は正社員の採用を控えたり、高卒者から大卒者に採用を切り替える企業の増加や高学歴志向等により、就職する者の割合は減少し、大学・短大や専修学校等へ進学する者の割合が増加しています。

このようなことから、専門高校においても大学等への継続教育を視野に入れた教育課程の編成が必要となっています。

また、産業構造・就業構造の変化により、高校で学んだ専門的な知識・技能と実際の就業実態が大きく異なっていることへの対応に加え、科学技術の高度化や高度情報通信社会の進展、産業分野の複合化などによる産業界のニーズの変化への対応も求められています。

【仙台工業高等学校】

ア 入学後に余裕を持って生徒の能力・適性，興味・関心，進路等に応じた学科や専門分野の選択ができ，専門学科の学習を深めながら，それ以外の教科についても広く学ぶことができる総合募集制の導入を検討します。

イ 職業観・勤労観の醸成や実践的な技術・技能の向上を図るため，企業での実習と学校での教育を組合せたデュアルシステムを導入します。

デュアルシステム：週に数日程度を職業訓練期間に充て，企業等で実際に働きながら職能を身に付けるシステム。就業期間分は単位に算定される。

【仙台商業高等学校・仙台女子商業高等学校】

ア 社会状況の変化により，教育内容の検討と学習環境の整備を検討する必要性があること，また，商業科を希望している中学生やその保護者の割合が少ないこと等を考慮し，充実かつ適切な学習環境のため，仙台商業高等学校と仙台女子商業高等学校を統合し，男女共学にします。

イ スペシャリストとしての専門性を身につけるため，卒業後も大学や職場等で継続的に学びたいといった希望に対応できるよう，教育課程編成の工夫や進路指導の充実・強化を図ります。

定時制高校について

夜間定時制高校の受検倍率は低く，定員を割り込んでいる一方，中学校時代に不登校を経験した生徒や他の高校の在籍経験がある生徒が増加するなど，生徒の実態が大きく変わってきています。さらに，資格取得を目的とする生徒や，再び高校で学ぶことを望む社会人などが在籍しており，生徒の多様化が一層進行しています。

こうした状況を踏まえ，定時制高校の役割を見直し，多様な生徒に対応できる教育環境を整備することが緊急の課題となっています。

普通科定時制高校は，多様な生徒に対応する「個を生かす教育」「地域社会と積極的に関わる教育」の実践を可能とする柔軟な形態による教育活動を推進します。

また，工業科定時制高校は，職業観をはぐくむキャリア教育に視点をおいた教育を実践します。

【仙台図南萩陵高等学校】

ア 多様な生徒の学習ニーズに柔軟に対応するため，昼間部を開校し，昼夜二部制・単位制の定時制高校とします。

イ 生涯学習の観点から，科目履修生の受け入れを実施し，広く社会人に高校教育を提供します。

【仙台第二工業高等学校】

ア 建築科や土木科を中心に充足率の低い状態が続いていることから、学科を再編し規模を縮小します。

イ 仙台工業高等学校の夜間課程へ位置づけます。

(2) 中高一貫教育校の設置

背景

平成9年の中央教育審議会の答申を受け、中等教育の一層の多様化を推進し、生徒一人ひとりの個性をより重視する教育の実現をめざすため、平成11年度から従来の中学校、高等学校の制度に加えて、6年間の中高一貫教育を導入することが可能となりました。

中高一貫教育の意義

- ・6年間を通した系統立てた教育課程の編成が可能となり、中学と高校における教育内容の重複を省いて時間的な余裕を生み出すことができます。その余裕を生かして基礎・基本の徹底や生徒一人ひとりの進路を見据えた教育内容の展開が可能となります。さらに特色ある学習指導等を行うことができます。
- ・生徒も余裕のある教育課程のもとで、じっくりと考えることができる時間や課外活動の時間などを確保することができ、生徒一人ひとりの個性や良さを伸ばすことが可能となります。
- ・同年齢・異年齢集団による活動が行えることで、社会性や豊かな人間性をより育成することができます。

中高一貫教育校の必要性

市立高等学校の枠組み見直しと学校選択肢の拡大

市内の生徒・保護者の約8割が普通高校を希望していますが、仙台地区における普通科の設置割合は75%弱で、普通科に対するニーズに十分対応できてない状況にあります。特に、市立の普通高校は仙台高等学校のみで、全日制課程における学科ごとの定員割合では、普通科29.6%、工業科22.2%、商業科48.2%となっており、極めて専門高校に偏った割合となっています。

さらに、生徒の能力・適性、興味・関心などが極めて多様化してきている状況を踏まえると、これまで専門高校に偏っていた市立高等学校の枠組みを見直すにあたっては、従来の中学校・高等学校の制度に加え、既存の高等学校ではなしえなかった新たな特色をもった学校をつくり、学校選択の幅を拡大していくことが必要です。

）次代を担うリーダーの育成

中高一貫教育の利点を生かして、6年間を通して生徒の多様な資質や能力を伸ばす系統的・継続的な学習を行い、単なる受験学力のみではなく本来の意味での学力を培います。さらには、幅広い年齢層の生徒による活発な活動や交流を通して、社会性や豊かな人間性、リーダーシップを養うとともに、時間的ゆとりを活用して特色ある教育を行い、使命感、倫理観、社会貢献の心など、これからの日本人に求められる資質をはぐくみます。これらの教育活動を展開することで、社会の様々な場面、分野において真のリーダーとなりえる人材を育成します。

中学・高校間における教員の相互交流が促進され、中高一貫教育校で勤務経験のある教員を通して、既設校の教育活動にも大きな刺激が与えられ、活性化が図られます。

【中高一貫教育校】

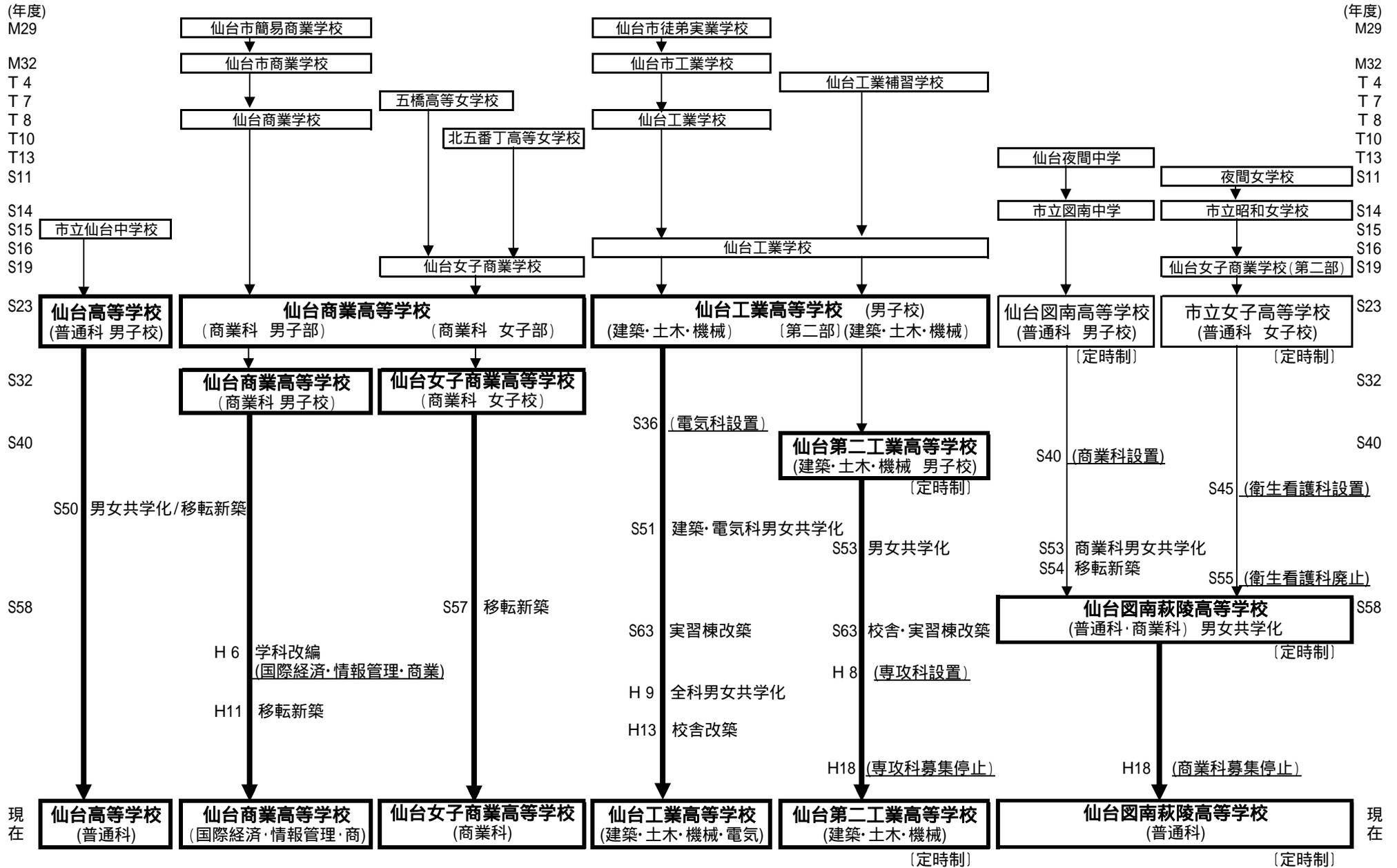
- ア 6年間を通じて体系的な教育課程の編成が可能となるなど、中高一貫教育の利点を最大限に生かすことができる中等教育学校を新設します。
- イ 新設する中等教育学校は仙台女子商業高等学校校舎を改修し、活用します。

市立高等学校再編計画の今後の予定

	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
仙台高校				単位制導入	
仙台工業				総合募集制検討 デュアルシステム導入	
仙台商業 仙台女商				統合	
函南萩陵	商業科募集停止			昼間部開校	
第二工業	専攻科募集停止	学科再編・縮小			仙台工業の夜間課程に位置づける
中高一貫 教育校				中等教育学校開校	

中等教育学校では、平成21～23年度までの3年間は前期課程に加え、後期課程からの募集も行う。

仙台市立高等学校の主な沿革



平成18年度仙台地区における高等学校の配置状況

地区	学区	全 日 制			定 時 制
		普通高校	普通科・専門学科の併置校	専門高校	
中部 北 地区	黒川	大郷分校 (1) 富 谷 (17)	黒 川 (普2, 農1, 工3)		貞山(普・昼3,夜1)《単》
	塩釜	塩釜女 (5) 多賀城 (7) 松 島 (5)	塩 釜 (普4, 商2) 利 府 (普5, 体2) 《単》		
	仙台北	仙台二 (8) 広 瀬 (7) 泉松陵 (7) 泉館山 (7) 仙 台 (8)	仙台三 (普6, 理数2) 宮一女 (普6, 理数2) 泉 (普6, 英 1) 宮城野(普コ4, 美1, 総2)《単》	仙台商(商7) 仙女商(商6)	
中部 南 地区	仙台南	秋保分校(1) 仙台一 (8) 宮二女 (7) 宮三女 (7) 仙台南 (8) 仙台西 (7)	向 山 (普4, 理数1) 仙台東 (普6, 英1)	宮城工(工8) 仙台工(工6)	宮城二工(工2) 図南萩陵(普3)《単》 仙台二工(工3)
	亘理 名取	名取北 (7)	名 取 (普6, 家1) 亘 理(普コ2, 農1, 商1, 家1)	宮城農(農6)	仙台一(通信, 普)《単》 名 取(普1)
私立 高 校		宮城学院 (280) 育 英 (コ1, 280) 聖 和 (コ600) 白百合 (コ225) 尚 綱 (320) 東北学院 (360) 榴ヶ岡 (270) ウルスラ (240) ドミニコ (220)	明 成 (普コ320, 調理 120) 東北生活(普コ310, 商コ 80) 東 北 (普コ620, 商コ 180) 常盤木 (普 500, 音楽 30) 東北工大(普 225, 電子 225)		秀光中等教育学校 (160) 育英 (通信制)

() 内について、公立は学級数、私立は定員、《単》は単位制、(コ)はコース制を表す。

平成18年度仙台地区における第1学年の学科別学級数及び定員

地区	学区名	全 日 制														定 時 制				
		普通	農業	工業	商業	水産	家庭	看護	情報	福祉	理数	体育	音楽	美術	英語	総合	小計	普通	工業	商業
中部 北	黒川	10	1	3													14			
	塩釜	26			2						2						30	4		
	仙台北	59			13					4			1	1	2		80			
	小計	95	1	3	15					4	2		1	1	2	124	4			
中部 南	仙台南	48		14						1				1			64	3	5	
	亘理名取	15	7		1		2										25	1		
	小計	63	7	14	1		2			1				1		89	4	5		
公立	(学級)	158	8	17	16		2			5	2		1	2	2	213	8	5		
	(人)	6,320	320	680	640		80			200	80		40	80	80	8,520	320	200		
	(%)	74.2	3.8	8.0	7.5		0.9			2.3	0.9		0.5	0.9	0.9		61.5	38.5		
私立	(人)	5,770		225	260		120					30				6,405				
合計	(人)	12,090	320	905	900		200			200	80	30	40	80	80	14,925				
	(%)	81.2	2.1	6.1	6.0		1.3			1.3	0.5	0.2	0.3	0.5	0.5					